



CONTENTS

滋賀の街道〔第5回〕

『追分道標と草津川』(旧東海道・旧中山道)

草津宿のほぼ中心地にある、東海道と中山道の合流点(分岐点)に、現在でも当時の姿を留める道標が立っています。道向かいには、高札場もあり、街道を行き交う人々の重要な目安となっていました。草津川为天井川化は、江戸時代後期に始まったとされています。金勝山等から大量の土砂が流れ込み、急激な川底の上昇が起きました。大雨が降ることに氾濫し、治水対策として堤防を高くし、また土砂が流れ込み…を繰り返し、今の高さとなりました。天井川となった草津川にマンボ(トンネル)が掘られたのが、明治19年。このトンネルの完成により、東海道と中山道の分岐点が、約300m中山道側へ移動となりました。ちなみに、平成14年に草津川放水路工事が完成し、草津川は廃川となりましたが、今でも桜並木が残り、市民の憩いの場となっています。

- ・ 会長 年頭のご挨拶……………2
- ・ 研修旅行 2010 in 横浜……………3
- ・ 『近畿あーきてくと 2010』開催のご案内……………4
- ・ Do シリーズ No.52 座禅体験と「大書院」の特別拝観事業報告……………5
- ・ 第4回ゴルフコンペ報告……………6
- ・ ベニヤドーム事業報告…6~7
- ・ 機関誌「家」2010年号 作品・原稿・広告募集のご案内…7
- ・ Do シリーズ No.53 予告 デジカメによる建築写真の撮り方実習 PART2……………8
- ・ 第5回 おおつ塾 『風景をつくる素材と技』～瓦～……………8
- ・ 支部だより……………9 湖南支部・湖東支部・彦根支部・湖西高島支部
- ・ 1月の暦……………10
- ・ 田中みきおさんの中米見聞録〈第3回〉……………10
- ・ 新入会員のご紹介……………10
- ・ 滋賀の街道……………10



年頭のご挨拶

(社)滋賀県建築士会 会長 山本 勝 義

新年あけましておめでとうございます。本年もどうか宜しくお願い致します

昨今、多くの人々が、豊かさの中で幸せを実感できずに生きています。それは、自分の行為に対して、それ相応の、あるいはそれ以上の見返りを期待し、求める人が多いからです。

私の人生を振り返っても、自分の払った努力の何分の一かでも成果が得られれば上々で、いくら努力をしても、何の成果も手にすることができないことの方が多々ありました。しかし、それは、自然の姿なのかもしれません。

今は、皆が不可能な望みを持ち、それが叶えられないイライラと焦燥感が、世の中全体に漂っています。見返りばかりを求めず、努力することそのものに意義を見出せるようにすれば、世の中はもっと穏やかになるのではないのでしょうか。

先日、和歌山県で開催された近畿建築祭で、ある方から、1890年に、和歌山県沖で難破したトルコの軍艦のお話を伺いました。その時、近くの大島という島の住民は、流れ着いた68人の乗組員たちを自らの貧しい生活を顧みず、自分たちの大切な食べ物まで提供して親身に世話をしました。このことを聞かれた明治天皇は、医師団を派遣され、遭難者に手厚い看護をした上に、船を手配してトルコまで送り返してあげられたそうです。

しかし、この話は、後日談があり、1985年に、イラクとイランが戦争を始めた時、イラクはある時刻以後、イラク上空の飛行機をすべて打ち落とすと宣言しました。世界各国は、すぐに自国民の引き揚げを完了しましたが、日本は対応が遅れ、数百人の日本人が取り残されてしまいました。その時、飛行機を派遣して残された日本人を送り返してくれたのがトルコでした。これはかつて大島の住民の行いに対する恩返しだったのです。

世の中をよくするためには、たとえ自分に何の見返りがなくても、善きことを思い、善き行いを積み重ねて世の中に善の循環をもたらすことが大切だという教訓だと思います。

しかし、たとえ善き行いを重ね、お釈迦様のような生き方をしても、無難な人生を送れるとは限りません。

人生には試練がつきものであり、むしろ、お釈迦様のような生き方をしようとすればするほど、より多くの試練が襲ってくるものなのです。

そんなときはつい、「私は何も悪いことをしていないのに、どうしてこんな目に遭わなければならないのか」と愚痴をこぼしたくなるものです。

しかし、本当に善きことを行い、幸せを手にいれたいのであれば、起きたことは受け入れ、自分の努力で状況を変えていくよう、努めていくことが大事だと思います。

「空の盃を献酬しているのと同じ」

これは、夏目漱石の名作『こころ』の中に出てくる言葉です。

空の徳利と盃を持ってお互いにやり取りしたとしても、それは、形だけのことであって、何の意味もありません。献酬をしている人も、その空々しい光景に心が虚しくなるばかりです。内容のない議論や、つまらない理屈を述べ合って時間を費やすのは「空の盃の献酬と同じ」と書かれていました。

この言葉に当てはまる事柄が、いまの日本にも、私の身のまわりにも多くあります。

5年先、10年先を見すえて、たとえ自分に何の見返りがなくとも実のある、真に、有意義な議論を積み重ねて行きたいものです。

空の器とするのではなく、酒を満たした徳利と盃でやりたいものだと思います。

我々の業界を取り巻く環境は、なお厳しいものがありますが、建築士会を取巻く環境も同様であります。無駄な努力となるかもしれませんが、今やっとなければとの思いで、組織改革に、事務局のスリム化や、公益法人に向けて取り組みなど、多方面の方々のご意見を拝聴しながら進めてまいりたいと考えております。また、昨年12月より滋賀県より御指導頂き、滋賀県建築士事務所協会とも協議した結果、耐震診断判定評価の業務も行うことに成りました。行政、施工会社、また設計に携わっておられる方々の仕事の円滑な推進の一助として、また、県民の皆様の安全・安心の為にもと考え、取り組むことと致しました。どうぞ多いにご活用頂ければ幸いです。詳しくは事務局までお問合せ下さい。

旧年中のご支援に心より感謝申しあげ、本年も変わらぬご支援、ご協力の程宜しくお願い致します。

会員の皆様方にとって本年もすばらしい年となりますことを心よりお祈り申しあげます。

今年は横浜！ 港の歴史が刻まれた横浜の新しいスポット、全部行きます！

開港 150 周年を機会に魅力を増した横浜の港町。リノベーションした有名無名の古い建物を散歩しながら巡ります。また、2009 年日本建築学会賞を受賞した神奈川工科大学 KAIT 工房の見学も可能となりました。選考委員が「今まで体験したことのない場」と評した建物を体感しましょう。もちろん食事は横浜中華街で！ご参加お待ちしております。

- 日 時：平成 22 年 **3月13日(土)～14日(日)**
- 行 き 先：神奈川工科大学 KAIT 工房（神奈川県厚木市）2009 年日本建築学会賞
横浜市開港記念会館ほか横浜港周辺
- 募集人員：40 名（会員及び会員ご家族） ●参加費：会員 38,000 円 ご家族 48,000 円
- 申 込 み：下記の申込み用紙に必要事項をご記入の上、建築士会事務局まで FAX 願います。
- 締め切り：平成 22 年 2 月 15 日（月） ※ただし定員になり次第締め切ります。
参加者には後日詳細をお送りします。
- 行 程：■3月13日(土) *集合 京都駅 8：00 米原駅 8：20
京都駅発（8：29）→新幹線→米原駅発（8：54）→新幹線→新横浜駅着（10：51）→
移動・昼食→神奈川工科大学 KAIT 工房見学（13：30～15：30）→移動→
ホテル着（17：00）→夕食（18：00～20：00）
■3月14日(日)
ホテル発（9：30）→横浜港周辺の建物見学→横浜中華街にて昼食（12：30）→
買い物（13：30）→中華街発（14：30）→新横浜駅発（15：52）→
新幹線→米原駅着（17：49）→新幹線→京都駅着（18：15）



2009 年建築学会作品賞を受賞した神奈川工科大学 KAIT 工房。設計者は 1974 年生まれの石上純也氏。



開港 150 周年で整備された象の鼻パーク。みなとみらい 21 地区や赤レンガ倉庫が一望できます。



開港 50 周年を記念して建てられた横浜市開港記念会館。

青年部会 研修旅行 2010 in 横浜 申込用紙 2010.3.13(土)～14(日)

お名前(フリガナ)	郵便番号・住所	連絡先(TEL)	会員 家族	集合 場所
-----	〒	TEL ----- FAX ----- 携帯	会員 ・ 家族	京都 ・ 米原
-----	〒	TEL ----- FAX ----- 携帯	会員 ・ 家族	京都 ・ 米原
-----	〒	TEL ----- FAX ----- 携帯	会員 ・ 家族	京都 ・ 米原

お申し込みはFAXにて・・・(社)滋賀県建築士会 事務局 <FAX.077-523-1602> (お問い合わせは... TEL.077-522-1615)

第17回地域実践活動発表会『近畿あーきてくと2010』開催のご案内

住育のススメ

～建築士と生活者…ともに考える「まち」と「暮らし」～

近畿建築士会協議会青年部会

平成6年度より開催している本発表会では、建築士が関わる様々な社会貢献への取組みを近畿2府4県の建築士の方々に発表していただき、参加者相互の自己啓発、建築士としての資質向上に努めてまいりました。建築士の職能を活かした『まちづくり』『環境』『教育』『福祉』『健康』『地域の活性化』等、様々なテーマの活動を、より多くの人々に伝えていただき、私達自身や参加して下さった方々に少しでも何かの糧にしていだければとの思いを持って、この発表会をおこなってきました。

今年度は『住育のススメ～建築士と生活者…ともに考える「まち」と「暮らし」～』というキャッチコピーのもとに、発表会・講演等を行ないます。

「住育」という言葉は、あまり聞き慣れない言葉かも知れませんが、「住むことについての教育」のことで、教育現場においても「食育」と共に少しずつ取り入れられており、今後さらに注目されていく分野だと思えます。人が生活していく上で最低限必要な「衣食住」のうち、私たち建築士が最も深く関わっている事柄です。今後の日本の建築、まちや暮らしを考えていかなければならない私たちは、この「住育」に対し、もっと真剣に取り組み、考えていかなければならないと思っています。

それぞれの地域での小さくても地道な取組みが、一つの家庭をつくり、まちをつくり、そして国をつくっていくことに繋がっていくということを、参加者に考えてもらえるような発表会にしたいと思います。

滋賀県からは、『安曇川流域・森と家づくりの会』の代表コーディネーター 宮村 太さんに、安曇川流域で取り組んでおられる地元の木材を使った家づくりと、施主や一般市民を対象にした数々のワークショップの事例などをお話し頂きます。

多くの建築士の方々のご参加をお待ちしています。

- 日 時：2010年2月6日(土) 13:00～(12:30開場)
- 場 所：大阪市立住まい情報センター(大阪市北区天神橋6-4-20)
- 参加予定人数：200名 ●参加費：無料(交流パーティーは有料です)
- プログラム：開会式 13:00～

- 第一部 発表会
- 第二部 講演
- 第三部 発表事例 質疑・応答
- 交流パーティー 18:00～

- 主 催：近畿建築士会協議会青年部会 ●C P D：4単位
- お申込み：近畿建築士会協議会青年部会事務局(大阪府建築士会内)までFAX又はメールにてお願いします。TEL：06-6947-1961 FAX：06-6943-7103 Mail：info@aba-osakafu.or.jp



第17回地域実践活動発表会 近畿あーきてくと2010参加申込書 2010.2.6(土)

氏名	士会名		交流パーティー(参加費5,000円)
			<input type="checkbox"/> 参加 <input type="checkbox"/> 不参加
連絡先	連絡先	部署名	
	住所 〒		
	TEL	FAX	

※お書きいただいた個人情報は、内部資料に留め、他の目的に使用することはございません。

(社)滋賀県建築士会 女性部会主催 Do シリーズ No.52 世界文化遺産 比叡山延暦寺の心に触れるー座禅体験と「大書院」の特別拝観ー 事業報告

女性部主催のDoシリーズNo.52は、去る11月27日～28日の1泊2日 滋賀県の誇る世界遺産比叡山延暦寺 西塔・東塔 研修道場「居士林」にて行われました。

当日は女性6人男性7人の計13名の方にご参加いただきました。滋賀県建築士会以外にも大阪士会や一般の方もご参加いただき、大変有意義で厳粛な時間を過ごしました。

一日目は入所式後、坐禅止観の解説・実習(約10分)、非食(=夕食)、法話、開浴(=入浴)と続き、午後9時には放心(=就寝)でした。

二日目は午前5時に覚心(=起床)、15分で身支度を整え真っ暗な中釈迦堂へ移動、坐禅止観(30分)、浄土院参拝、作務(=清掃)、小食(=朝食)と居士林の方の指導の下行われました。その間一切の私語は禁止、食事も無音でしなければならず、不慣れな私達には少し厳しい時間でした。

その後建築士会らしく建物研修となりました。延暦寺の小林氏の説明の下、非公開の天皇の迎賓館「大書院」の特別拝観、国宝の根本中堂を見学しました。「大書院」は、大正5年東京赤坂にて当時の「たばこ王」村井吉兵衛氏が巨万の富を投じて造られた、ふたつとない良材を用いた純日本様式の建築物です。これを昭和3年、比叡山山頂の来賓接待の場所として使用するため東京から移築されました。八間無節の北山杉や屋久杉の戸板、ベルギー製の両面磨き透明平ガラスの戸等、贅の限りを尽くした建物となっています。普段は決して公開されないことない建物を見学できた事は、参加者にとっても貴重な体験になったと思います。

最後の食事は正食(=昼食)で、煮込ご飯と汁物・漬物でした。完全な精進料理で出汁に使用した昆布をご飯の具に使い、ゴミを出さない様考える等エコにも貢献しているという事でした。

お坊さんのお話の中では、比叡山は建物のみではなく、自然やそこにいる生き物、修行をする僧侶の姿など全てを含めての文化遺産であるという話が印象的でした。また、仏教の教えは人の心を育てる事が大切で、坐禅止観は身を整え、息を整える事で、心を整える事につながるのだそうです。

午後1時半の退所式終了後のお茶会では、非日常体験を行った辛さや坐禅の清々しさについて皆と語り合いました。皆様 お疲れ様でした。



西塔の中堂：釈迦堂 坐禅を体験しました



東塔 大講堂前にて



比叡山延暦寺大書院 旭光の間



比叡山延暦寺大書院 観月台



旭光の間ガラス戸：ベルギー製両面磨き平ガラスはひずみが全くない

(社)滋賀県建築士会青年部会 第4回ゴルフコンペ報告

11月18日(水)に第4回青年部ゴルフコンペを名神八日市カントリー倶楽部にて開催いたしました。

当日は雨が心配されていましたがなんとか持ち直し、午後からは太陽の姿が見え隠れしていました。初めてコースに出られた方、ベテランの先輩の方々や賛助会員様を含め22名の方が参加して下さり、爽快な気分プレーされていました。

また当コンペに初めて参加して頂いた方もたくさんおられ、プレー後の成績発表を兼ねたパーティーでは、少しの時間でしたがお互いの交流の場として親睦を深めていただき有意義で楽しい時間を過ごして頂けたのではないのでしょうか。参加して頂いた皆さん、ありがとうございました。

次回は、春に予定しております。初心者大歓迎の青年部ゴルフコンペです。これからゴルフを始められる方、最近始めた方、どしどし参加お待ちしております。



青年部主催事業 ベニヤドーム事業報告

栗東市下鉤甲地区 第2回 堂々! 栗東景観記念日

10月18日(日)

青年部会と湖南支部では、滋賀県栗東市下鉤甲地区で行われた、「第2回 堂々! 栗東景観記念日」事業に参画してきました。

本会において参加している「栗東市街道ものがたり百年協議会」の関係により、昨年度に続いて、今年度も事業の一部を担当するという形で参画し、「木のパズル」の組立体験を行って頂きました。

その後、一建築士として「まちあるき」「称名寺境内コンサート(さきら主催)」「景観座談会」に参加しました。

まちあるきでは、新幹線の栗東新駅や近隣の工場建設等に伴う開発に翻弄されつつも、「自分たちが住み続けたいまち」をつくるという情熱により、役所に頼らない、自分たちのまちづくりをされている地区内を見学させて頂きました。歩車分離のカラー舗装やハンブの設置、どぶ川だった水路を改修し、鯉や鴨を飼い、水車をまわすなど、住民視点での取り組みであることを感じさせられました。

称名寺境内コンサートでは、地名の由来から現代にいたるまで、地区の歴史を紐解きながら、ソプラノ歌手 高野久美子さんによる素晴らしい歌に、鑑賞に来られた地元の人たちも涙を目に浮かべ聞き入っておられました。

また、景観座談会では、今後の下鉤甲地区について、市長・自治会長・地元のみなさん・建築士会員など、多くの方々から、より良いまちづくりを目指しての、意見交換がなされました。ちなみに、座談会中は、境内は行燈でライトアップ、周辺道路は通行止めにして、竹行燈にてライトアップされました。

普段は通過交通に悩まされておられるこの地区ですが、歩いてみると、古い町並みも残り、まちづくりでの取り組みが活かされた落ち着いた町並みに、みなさんも一度足を運んでみてはいかがでしょうか？



常盤公民館 常盤学区民ふれあいまつり

10月25日(日)



「常盤学区民ふれあいまつり」で、木のパズルづくり、ベニヤドームづくり、ケルンを出展してきました。この日はケルンとパズルの人気が高く、『ケルン』は開始から終了まで人が途切れることなく、『パズル』は幼稚園児からおじいちゃんおばあちゃんまでという幅広い年齢層に、体験してもらえました。

栗東市岡地区・目川地区 第3回 東海道ほっこりまつり

10月25日(日)

滋賀県栗東市岡地区・目川地区で行われた、「第3回 東海道ほっこりまつり」に参画してきました。

本会にて参加している「栗東市街道ものがたり百年協議会」により組織された「栗東市街道百年ファンクラブ」に、青年部会から数名が参加し、中心的な役割を担っており、今回の事業参画へと繋がりました。

このファンクラブでは、仲間づくりやそれを元にしたネットワークづくりを進めながら、栗東の歴史街道(主に、旧東海道・旧中山道)を核とした、様々なまちづくり活動を行っています。

現在街道ファンクラブでは、栗東市観音寺地区のまちづくり事業で、間伐材利用の事業に取り組んでいます。今回の事業では、その間伐材を使って、青年部会で行っている木のパズル事業を行いました。

「なぜ間伐材を使うの?」という疑問の投げかけから、「木は切っているの?」「どうしたらいいの?」という一般市民の方々が抱く疑問を解決し、「間伐材を使って下さい!」とのPRまでを、一つのものごとりにしています。子供たちは、どちらかというパズルに夢中で、大人の方たちは、間伐材のものごとりに興味をたくさん持っていただきました。

桧や杉の木のにおいの違いを体感したり、丸太を触ったり、木地師の方が作られた多くの作品に触れたり、間伐材桧でつくったぐい呑みで地元の銘酒を頂いたり、観音寺地区で掘り起こした日本水仙の球根も販売したりで、一日中、ブースは人であふれかえっていました。

建築士会のPRという点では、少し物足りない部分があったかも知れませんが、街道ファンクラブと建築士会とのコラボレーションという意味では、これからもお互い良い関係で事業が行える土台が出来たと思います。



新唐崎公園にて開催されました、下阪本地区こども会のイベントに参加して参りました。当日は汗ばむ程の暖かく天気の良い日で、子ども達にも楽しく参加してもらえました。実は今回のイベントは、主催者の方が、去る9月12日の「建築士フェスティバル」にて展示したベニヤドームを見て、今回のイベントでは是非とも行いたいとの依頼で実現しました。「建築士フェスティバル」の成果としてこのような反響があったことは大変うれしいことだと思います。こうした活動を地道に行い、今後も建築士の地位向上に努めていきたいと思っております。ご参加・ご協力いただきました皆様に感謝申し上げます。



機関誌「家」2010年号作品・原稿・広告募集のご案内

機関誌「家」2010年号にて掲載いたします『WORKS（会員の作品）』『会員の声』と会員並びに関係企業様の広告の募集を行っております。皆様のご協力をお願い申し上げます。

- サイズ・内容：〔WORKS〕A4サイズ 1P・1/2P・1/6Pまで
〔会員の声〕1600字程度（写真、説明資料を含む）とし、日常の業務や、社会の事、趣味や家族の事等内容は問いません。
〔広告〕表紙3面A4サイズ1P、普通紙A4サイズ1P・1/2P・1/4P・1/6P・1/12Pまで
- 募集期間：平成22年1月末日
- 送付方法：原稿をメール又は郵送にて下記までお送り下さい。
- 送付先住所：〒520-0801 大津市におの浜1-1-18 建設会館3F（社）滋賀県建築士会 事務局 機関誌係
FAX：077-523-1602 E-mail：shiga-sa@mx.bw.dream.jp
※詳細は応募要項をご覧ください。
※応募要項は建築士会事務局、またはホームページから入手できます。

予告

女性部会主催

Do シリーズ No.53 デジカメによる建築写真の撮り方実習 PART 2 ～今更聞けないデジカメの基礎～のご案内

建築士として高めておきたいスキルの一つ、デジタルカメラ。「デジカメによる建築写真の撮り方実習 Part1」が好評につき、今回は講習内容を講義と実技・解説で構成し、デジカメの基礎から画像処理まで段階を追って学んで頂ける様にしました。シリーズ化も検討中です。

カメラ講習の講師には、松居直和氏をお迎えします。財団法人近江兄弟社委託職員として、ウィリアムメレル ヴォーリズ氏関連の写真・資料の整理や電子データ化に尽力され、ヴォーリズ建築の撮影に国内外を飛び回り、映像プロデューサーとしても活躍中の方です。

開催予定は下記の通りです。

- 日 時：平成22年3月30日(火) 12:30～16:30
- 場 所：甲賀市 旧水口図書館 ●受講定員：20名

※タイムスケジュールなど詳細は次号でお知らせします。

以降、*デジカメによる建築写真の撮り方 実習 Part3 ～デジカメの機能を使ってみよう～
*デジカメによる建築写真の撮り方 実習 Part4 ～デジカメ画像をイジってみよう～
を、予定しております。

皆様の多数の参加をお待ちしています。

第5回 おおつ塾

～知っているようで知らないことまだまだあります～ 『風景をつくる素材と技』 ～ 瓦 ～

日本の美しい風景をつくってきた風土素材のひとつである粘土瓦。建築着工棟数が減少するなか、建物の多様化、洋風化ならびに震災被害の影響もあり、粘土瓦の使用が減少しています。このままでは、日本文化の象徴でもある瓦屋根がなくなるのでは・・・。

そこで今回おおつ塾では、建築士会大津支部青年委員会と瓦工事協同組合青年部と共同で、粘土瓦の良さや、瓦屋根について知識を深め、粘土瓦は日本文化の一つであることを再認識するべく、瓦についての勉強会を開催いたします。

●日 時：平成22年1月16日(土)

*受付 13:00～

*第一部 13:30～15:00

『瓦』に学ぶ 粘土瓦について

*第二部 15:00～16:30

『瓦』に親しむ 瓦工事の実演と実習

講習会終了後合同懇親会を行います。

●場 所：滋賀県瓦工事協同組合

守山市木浜町100番地 TEL:077-585-3600

●参加費：無料 ※懇親会費は別途(3,000円程度)

●定員：30名

●申込締切：平成22年1月12日(火) ※定員になり次第締め切らせていただきます。

●当日連絡先：090-9161-1269(木村)

●お申込先・お問合せ先：

大津支部事務局 石倉工務店内 TEL:077-523-0537(非通知不可) FAX:077-527-3764

●当日は動きやすい服装でお越し下さい。

大津支部以外の方も
多数の御参加を
お待ちしております。



(社)滋賀県建築士会 大津支部 青年委員会、(社)全日本瓦工事業連盟 滋賀青年部 共同主催

「第5回 おおつ塾『風景をつくる素材と技』～瓦～」参加申し込み用紙

支部名	お名前	会社名	ご住所	連絡先(FAX)	合同懇親会
					参加・不参加
					参加・不参加
					参加・不参加
					参加・不参加

※合同懇親会はどちらかに○印をお願いいたします。

お申し込みはFAXにて・・・大津支部事務局 石倉工務店内 <FAX.077-527-3764>

「風景をつくる素材と技」シリーズ化が決定しました!

第2弾 あーき塾「風景をつくる素材と技」～土と左官～ 平成22年3月20日(土) 企画：本会青年部会

第3弾 こなん塾「風景をつくる素材と技」～木と木組～ 日時未定

企画：湖南支部青年委員会

湖南支部

躯体工事現場見学会 (木質二方向ラーメン)

平成21年12月2日(水)、大断面構造用集成材を採用した現場にて、支部事業の研修見学会が開催されました。守山市建築指導課の方をはじめ、約40名のご参加を頂き、メーカーの説明を中心に、工事中の現場を見学させていただきました。

当現場の工法は、大臣認定や評定工法で、柱梁に構造用集成材や構造用LVLを使用し、接合部に異形鉄筋を挿入させ、エポキシ樹脂を充填硬化させることで剛接合を実現させており、接合金物が外部に露出しない事が特長です。

環境問題が叫ばれる中、木造でRCやS造並みの空間を実現し、木のぬくもりと質感を生かした意匠計画が可能であることが特長です。

概要	工事名	守山市立小津認定こども園整備工事
	工事場所	守山市欲賀町879
	用途	幼稚園、保育園
	設計、施工	丸山建築事務所、ヤマタケ創建、
	躯体メーカー	三井住商建材
	構造規模	木造1階、延べ面積1,533m ²



湖東支部

近畿建築祭 和歌山大会に参加して

目的地が和歌山県ということで早朝の出発となりましたが、遅刻もなく時間通りに滋賀を発つことが出来ました。しかし、和歌山で渋滞情報に翻弄され、近畿建築士会式典には遅刻してしまいました。

式典、昼食からは本会と合流しての行動となり、他支部の方々との交流も図れました。

湯浅、広川の町並み見学は、どちらもボランティアガイドさんの案内による見学で建築のことばかりでなく町の歴史についても説明頂きました。

町並みを守ることは、その土地の歴史、文化を継承することだなどと思いました。



彦根支部

業務報酬基準・工事監理ガイドライン& 長期優良住宅講習会

平成21年12月3日(木) TOTO彦根のショールームで業務報酬基準・工事監理ガイドライン&長期優良住宅講習会を29名の参加で行いました。

業務報酬基準が一部改正された為、業務報酬基準・工事監理ガイドラインの内容を理解し、適切な設計及び工事監理が実施され、それらの業務に見合った報酬が提示できるように、業務報酬基準・工事監理ガイドラインの解説でした。

平成21年6月4日に施行されました「長期優良住宅の普及の促進に関する法律」におきまして、長期優良住宅促進法の内容を理解して頂き、日々の業務にお役立て頂く為に開催させて頂きました。

厳しい社会情勢ですが、1に勉強、2に勉強、3に実践4に実力、5に成果です。これからもこういう講習会も開催していきたいと思っています。

是非多くの方々の参加お待ちしております。



湖西滋賀支部

大垣・岐阜アクアト見学研修会

湖西滋賀支部では11月14日(土)に、大垣奥の細道むすびの地記念館と、各務原の水族館アクアトを訪れ、会員家族親睦を兼ねた見学研修会を実施しました。

大垣は松尾芭蕉が3回ほど訪れ、地元の俳壇谷木因と交流を深めた場所とのことで、記念館と市内水門川の風情豊かな住吉燈台周辺を散策しました。

その後市内で昼食をとり、東海北陸自動車道の川島PAにあるハイウェイオアシスと水族館アクアトを見学しました。このアクアトは淡水魚専門の水族館で、長良川に生息する生き物のみならず世界の淡水魚もいて、見ごたえのある立派な水族館でした。この水族館ではアシカショーがあり、愛嬌たっぷりの可愛いアシカが楽しい芸を見せてくれて、一同大笑い、和やかな雰囲気を与えてくれました。

支部日帰りのバス旅行には、いつも地元の江若交通さんをお願いしております。そのせいもあって、美人で何でもご存知のバスガイドさんが、道中も親切に案内してくれます。岐阜は隣県で身近ですが、いつ行っても豊かな川と緑がある自然の美しい魅力のある地域です。行く所が一杯のこの地を、今後も探訪してみたいと思います。

今後も支部会員や家族の方の積極的なご参加を期待しております。(N.M)



1月の暦

1	金	先負	元日	年始休暇	12	火	友引		21	木	赤口	
2	土	仏滅		↓	13	水	先負		22	金	先勝	
3	日	大安						●二級・木造建築士免許証 交付式 ●建築関係五団体合同 年賀会	23	土	友引	
4	月	赤口			14	木	仏滅		24	日	先負	
5	火	先勝							25	月	仏滅	
6	水	友引			15	金	赤口		26	火	大安	四役、委員長会議
7	木	先負			16	土	先勝		27	水	赤口	
8	金	仏滅			17	日	友引		28	木	先勝	
9	土	大安			18	月	先負		29	金	友引	
10	日	赤口			19	火	仏滅		30	土	先負	
11	月	先勝	成人の日		20	水	大安		31	日	仏滅	

ドミニカ通信

田中みきおさんの中米見聞録

第3回

エル・コンデ 〈El Conde〉

ちょっとおしゃれなお通りである。コンデ門とコロンプス公園を結ぶ400mほどの通り。境界にはおしゃれな店や観光客相手のみやげ物店が、路上ではハイチを初めとするカリブの絵画が売られていて観光客でいつもにぎわっている。ここは、世界遺産の中でも観光客向けの通りである。もちろん車は通行禁止の歩行者天国である。徒歩でじっくり味わってほしい。



コンデどおりは歩行者天国のようで車両はシャットアウト、椅子もあって絶えず人通りがある。

夜のエル・コンデ真ん中の街頭が映える。

西のエル・コンデの起点は絶えず車の往来が激しい。

新入会員 ご紹介

支部	氏名	住所	支部	氏名	住所
大津支部	川崎 勝	大津市	湖東支部	中島 梢	蒲生郡
大津支部	繁松 千博	大津市	湖西高島支部	安原 篤司	高島市

平成21年度12月理事会承認分

滋賀の街道 追分道標と草津川(草津市)

東海道と中山道の合流点(分岐点)に立つ道標。この道標は、文化13年(1816年)に、街道を往来する飛脚問屋らの寄贈により建てられたと伝えられています。高さは一丈四尺七寸(4.45m)で、『右 東海道いせみち』『左 中仙道美のち』と刻まれています。

この道標は、昭和48年10月15日に、草津市指定文化財に登録されています。

